

系	統	2液無溶剤型ポリウレア樹脂系繊維シート含浸材・仕上げ材
特	長	1) 耐候性に優れる無黄変樹脂である 2) ビニロンシートの含浸性に優れる。 3) 硬化後光沢のある透明な塗膜になる。
用	途	1) はく落防止工法 ニュークリアクロス工法用繊維シート含浸材・仕上げ材 2) はく落防止工法 クリアクロスR工法用繊維シート含浸材
配	合 比	主 剤：硬化剤 = 1：1 (重量比)
荷	姿	12kgセット (主剤/6.00kg、硬化剤/6.00kg)
外	観 性 状	主 剤…黄色パテ状 硬化剤…微黄色透明液状 混合物…淡黄色透明グリース状

可使時間の目安

タ イ プ	Wタイプ			Sタイプ		
温 度 [°C]	5	10	20	15	20	35
可 使 時 間 [分]	25	25	25	25	25	25

比 重 1.05±0.10 (硬化前混合物)

標準使用量

(ニュークリアクロス工法)
下含浸材塗布工：0.50kg/m²，仕上げ材塗布工：0.50kg/m²
(クリアクロスR工法)
下含浸材塗布工：0.40kg/m²，上含浸材塗布工：0.20kg/m²
(へら，コテ，ローラー)

貯蔵保証期間 6か月 (未使用、冷暗所保存)

消防法による区分

主 剤 指定可燃物 可燃性固体類
硬化剤 危険物 第4類 第4石油類

毒物及び劇物取締法

主 剤 該当しない
硬化剤 該当しない

使用方法

- 1) 主剤、硬化剤を配合比に従って、秤量して使用する。
- 2) 主剤、硬化剤を攪拌機等で均一になるまで十分に混合攪拌する。
- 3) へら、コテ、ローラーで塗布する。

使用上の注意

- 1) 不陸調整材の硬化確認と接着面の確認(汚れ、脆弱部の除去)を行う。
- 2) 接着面に浮水がある場合は、浮水を除去し、乾燥させる。
- 3) 可使時間内に含浸・塗装作業を終了する。
- 4) 塗装間隔が7日以上となる場合は、被塗面をサンドペーパー等で処理する。

⚠ 注 意

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 健康上、注意を要する物質を含有しています。 2. 皮膚に付着すると“かぶれ”を起こすおそれがあります。 3. 取り扱い中は、保護眼鏡、保護手袋、保護マスク等を着用してください。 4. 詳細については製品安全データシート(SDS)を参照してください。 |
|--|